

日本情報経営学会第78回全国大会

酒井 雅裕*1 · 永吉 実武*2 · 村田 潔*3

1. はじめに

日本情報経営学会は旧オフィス・オートメーション学会を前身とし、2007年春から全国大会を年2回開催している。本年の春の全国大会、日本情報経営学会第78回全国大会は2019年6月7日、8日の二日間、静岡県浜松市の静岡大学浜松キャンパスにおいて「グローバル・イノベーション」を統一論題として実施した。全国から120名余り参加があり、二日間に分かれ他学会との共催セッション、学会により研究テーマを設定された特定自由論題セッション、会員による研究成果の発表の場である自由論題セッション、大学院生会員による大学院生自由論題セッションが実施された。また一日目の午後より大学内「佐鳴会館」にて基調講演・シンポジウム・会員総会が実施された。



Fig. 1: シンポジウムの様子

2. 基調講演

スタートアップアクセラレータ、Global Techno Innovation Cafe/TOMO International(株) 代表取締役/CEOの秋山智紀氏が、『停滞した日本の平成30年、令和時代の日本人の生き方は平成時代の延長線上の「改善」で良いのか?』と題して基調講演が行われた。

講演趣旨は、平成時代の国力低下の実態をわかりやすい指標を用いて示された上で、それに対する処方、肩書きや所属にとらわれず多様性の中に身を置き、世界中でリーダーシップを取り、個人が所属組織を牽引する人材、「パーソナルブランド」を持ちうる人材を育てる視点を強調されていた。

3. シンポジウム

基調講演を受け、「グローバル・イノベーターの育て方」として第78回全国大会実行委員の光産業創成大学

*1 日本情報経営学会大会委員長 北海道情報大学

*2 日本情報経営学会第78回全国大会実行委員長 静岡大学

*3 日本情報経営学会会長 明治大学

Received: 8 July 2019.

院大学の増田靖教授をモデレータとし、リンクウイズ株式会社の村松弘隆氏、株式会社ナノプロセスの刀原寛孝氏、大建産業株式会社の武田信秀氏、基調講演の秋山智紀氏とともにシンポジウムを開催した。

講演者の方々から、各社のシーズ・経験・ビジョンに関するプレゼンテーションが行われた後、グローバル・イノベーターを育てるにあたっての期待や手法の討論があった。重要なのは、技術的な解決に資する「人脈」「支援」であり、「働く人の熱量を上げる」教育のあり方が大事であるとの指摘があった。産学連携においては大学にはビジネスに入り込む姿勢と、産業界では理論を重視する姿勢を双方尊重されるとよいと示唆された。

4. 共催セッション

本学会では他学会とともに共催セッションを継続的に取り組んでいる。本大会でも一日目には、文部科学省が実施する次世代アントレプレナーシップ事業の「EDGE-NEXT」に参加した学生の報告が3件あり、自らのシリコンバレーでの体験に関する報告が行われた。二日目には「拡張する戦略空間」と題し、本学会の会員と地域デザイン学会の会員とともに地域における空間の戦略性に関する4本の講演に基づき議論を行った。



Fig. 2: 「EDGE-NEXT」学生報告



Fig. 3: ランチタイム形式懇親会

5. 特定自由論題セッション

特定自由論題は本学会における研究課題に基づきテーマを設定し全国大会で継続的に開催している。本大会でも「インダストリー 4.0」「地域医療連携のための情報システムの普及に向けて」をテーマとしそれぞれの研究テーマに関して6件の報告を元に議論を行った。

6. 自由論題セッション

本大会での自由論題セッションは48本の多岐にわたる情報経営分野の会員からの講演があった。第74回全国大会から教授職に就いていない若手の研究者、一般の企業における研究者を対象としてYIA (Young Investigator Award)、若手研究発表賞を創設し優秀な研究発表に関して審査の上表彰を実施している。本大会でも9件の応募があり、厳正なる審査の結果、最優秀賞1件と優秀賞1件を表彰した。

7. 院生自由論題セッション

本大会での院生自由論題セッションは4件の講演があった。第75回全国大会から優秀な大学院生の発表に対してJIA (Junior Investigator Award) を創設し審査の上表彰を実施している。本大会でも2件の応募があったが、厳正なる審査の結果、残念ながら該当発表なしとなった。

8. 懇親会

懇親会を一日目にランチパーティ形式で実施した。従来大会の懇親会は一日目の夕刻に実施されていたが、参加者同士の交流促進、経済的負担の軽減化を考慮し、利

便性に配慮したランチパーティ形式を試みた。参加者は68名で盛会であった。

9. 次回以降

今回は本年度秋季全国大会で、2019年11月9日、10日に愛媛県松山大学において、統一論題「ブロックチェーンとイノベーション」と題して開催の予定である。次回大会はIEEEのThe Society on Social Implications of Technology Japan (SSITJ) と共催で、2019 IEEE Social Implications of Technology (SIT) and Information Management (SITIM) も併設される予定である。会員の活発な議論が期待される。

10. 謝辞

この大会は株式会社アミック、セイブ自動車学校、株式会社豊幸、有限会社春華堂(株式会社うなぎパイ本舗)のご支援があった。また、静岡大学の学生による起業サークル「静岡ビジネスクラブ」の協力も得られて運営できた。ここに記して感謝する。



Fig. 4: 静岡ビジネスクラブ (学生起業サークル)